

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会情報

## おもっちニュースレター

第18回

### にじいろサポーターZ大募集!!

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に出場する都道府県の応援旗を作成し、お気に入りの都道府県を応援するグループ「にじいろサポーターZ」を募集します。グループの自由な発想で選手団を応援しましょう。

■問い合わせ＝希望郷いわて国体・希望郷いわて大会奥州市実行委員会事務局（本庁国体推進室内、江刺総合支所・内線 353、354）



- 応募期限 7月29日(金)
- 応募資格 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に出場する都道府県を応援したいグループ
- 活動内容
  - ▶都道府県応援旗の作成
  - ▶にじいろサポーターZの出発式への参加（10月1日国卓球会場にて）
  - ▶選手団への手紙、手作り記念品などグループの自由な発想で選手団を応援
- 活動条件
  - ▶3人以上のグループである
  - ▶応援する競技、都道府県は自由に選択（ただし、岩手県は除く）
- 申し込み方法 市実行委員会ホームページに掲載する申込用紙をダウンロードし、事務局にファクスで送信

参加都道府県をグループで応援しよう!!



【奥州おもっちサポーターズの募集を終了します】

競技会運営ボランティア「奥州おもっちサポーターズ」は目標の600人を大幅に上回る650人の登録をいただきました。競技会運営に十分な人数が確保できたため、募集を終了させていただきます。今後は「にじいろサポーターZ」への登録をお待ちしています。

### 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」開会式・閉会式の観覧者を募集します

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の総合開会式のオープニングイベントに、本市から奥州市江刺鹿踊保存会とユニサイクルいわて（一輪車演舞）が出演します。そしてフルーインパルスの展示飛行が決定したほか、千昌夫さんや村上弘明さんなど県出身の有名人も多数出演します!! 奮ってご応募ください。

- 会場 北上総合運動公園北上陸上競技場
- 応募期限 6月30日(金)
- 入場料金
  - ▶希望郷いわて国体総合開会式(10月1日(土)) / 中学生以上1,000円、小学生以下500円
  - ▶希望郷いわて国体総合閉会式(10月11日(土))、希望郷いわて大会開会式(10月22日(土))、同大会閉会式(10月24日(土)) / 無料
- 申し込み方法 次のいずれかの方法で申し込み
  - ①市役所および各総合支所、県内のコンビニ、金融機関などに設置してある開会式閉会式観覧者入場券申込ガイドに記入のうえ、県実行委員会事務局に郵送
  - ②県いわて国体・いわて大会ホームページから申し込みフォームを入力

- 注意事項
  - ▶申し込みは、両大会の開・閉会式ごとに1人1回までです
  - ▶先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選になります
  - ▶会場周辺には自家用車の駐車場はありません。シャトルバスをご利用ください

詳しくは「開会式閉会式観覧者入場券申込ガイド」をご覧ください



“見て楽しい”国体情報が盛りだくさん! ■HPアドレス <http://www.city.oshu.iwate.jp/html/kokutai/>  
ホームページやフェイスブックをCHECK! ※市公式サイトのパナーからもアクセス可能

奥州市 国体 検索

希望郷 いわて国体・希望郷 いわて大会 まで4カ月



病気やけががないか、体調をチェックしながら触れ合う

「どうだろう。よしよし」。緑深まる衣川区の日向牧野で、菅原雄一朗さんは愛馬・春風号の毛並を整える。戦時中騎兵隊に所属し、馬が大好きだった祖父の俊雄さんが、和牛の肥育から馬の繁殖に切り替えたのは雄一朗さんが5歳のとき。馬がいる生活が当たり前になり、手を掛けるほどなつく馬たちに、次第に愛情が深まっていった。雄一朗さんが20歳のとき、俊雄さんが交通事故で急逝。牝馬2頭が残されたが「祖父の仕事をいっつも見て、手伝っ

ていたので抵抗はなかった」と進んで後を継いだ。「馬を育てて20年。気付いたら、祖父がしていたより長い年月になつていた」と振り返る。衣川に種馬がいなくなった8年前から繁殖は行っていないが、「春の藤原まつり」や「奥州ころもがわ祭り」などの地域行事に協力している。「行事や地域おこしのイベントなどで声が掛ければ、できる限り協力したい」と力を込める雄一朗さんは、春風号と各地を巡りながら、地域と馬産地の活性化に思いをはせる。



広報おうしゅう  
Public Relations Magazine  
Oshu City  
Vol.124  
2016

6

### CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 おもっちニュースレター
- 4 【特集】—第2期市地域福祉計画を策定—みんなが主役! 地域福祉のまちづくり
- 8 財政状況の公表
- 10 考える 未来のため 地球のため
- 11 6月は食育月間です
- 12 チャレンジデー2016 対戦結果報告
- 13 大使の横顔 Oshu Ambassador
- 14 まちの話題
- 15 市政ズームイン
- 16 夢トーク 青春讃歌
- 17 雨の日も晴れの日も 市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 18 我が家のアイドル 子ども喜ぶ人気メニュー
- 19 トマス・アンナの あんなことこんなこと 姉妹都市掛川だより
- 20 情報あらかると
- 24 奥州遺産

## 馬産農家の立場から 地域おこしの一助を

菅原雄一朗さん (40歳)  
|| 衣川区日向 ||



すがわら・ゆういちろう◎  
昭和50年、衣川区生まれ。㈱共和開発に勤務する傍ら、馬産農家を継ぎ馬の飼育に20年携わる。剣道3段で、衣川剣道スポーツ少年団を指導。妻と長男、長女、母との5人暮らし

### 〈今月の表紙〉



農業体験活動「たんぼの学校」の田植えが5月28日、胆沢区若柳の内田ため池周辺で行われました。農業体験を通じて、自然環境の大切さや維持管理の重要性を理解してもらおうと、市や岩手大学農学部、胆沢平野土地改良区など関係機関が平成18年度から行っているこの活動。この日は、地元住民や関係者など約100人が参加し、昔ながらの手植えを体験しました。

写真は、4年前から活動に参加している、胆沢愛宕小学校4～6年生「ふるさと愛宕っ子隊」の田植えの様子。泥んこになればなるほど笑顔が溢れていました。

地域の個性が  
ひかり輝く  
自治と協働のまち  
奥州市